

健康とくらし学ぶ

畿央大の公開講座スタート

シニアの声取り入れ企画

広陵町馬見中四丁目の畿央大学で十日、第五回公開講座が始まった。地域貢献のため、同大学が毎年実施しているもので今回のテーマは「健康とくらし」。今年

は県内のシニア層の情報交換・交流組織「ならシニアネット」の協力で事前アンケートも実施。シニア層

の生の声を取り入れて企画した。

きょう十一日までの二日間、全四講座に例年より多い、延べ約六百人が受講する。

講座に先立って行われた開講式では、先ごろ奈良新聞文化賞を受賞した冬木智子学長が「一人でも多くの

みなさんが明日に夢を託して学べる学園を、との思い

でいる。感動は人生の糧。この講座が、みなさんの心に感動を与えられますように。そして、若い夢をたぎらせて」とあいさつした。

続いて辻啓介健康栄養学科教授が「肥満者にしのび

開講式であいさつする冬木学長。10日、広陵町馬見中4丁目の畿央大学



よるメタボリックシンドロームの脅威」、庄本康治理「学療法学科教授が「家庭でできる簡単な運動」をデ

マにそれぞれ講演。受講者らはメモを取るなどして熱心に聞き入っていた。